

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

環境美化事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境: 環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 快適な生活環境の実現のため。

効果 散乱ごみ・不法投棄をさせないまちづくりが促進されるとともに、散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

【事業の内容】

(1) 環境美化事業

- ・ 公共の場所への不法投棄物の回収・処理業務、市内設置した観光ごみ等分別式容器のごみ回収業務を行った。

(2) 海岸清掃事業

- ・ (財)かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金を支出した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,904	26,904	26,503		401

主な支出内訳

・ 環境美化事業

不法投棄物(家電リサイクル法適応分)処理手数料	103
不法投棄物処理業務委託料	95
観光ごみ等拠点回収事業委託料	5,665
廃タイヤ処理等委託料	26

・ 海岸清掃事業

(財)かながわ海岸美化財団清掃事業費負担金	20,528
-----------------------	--------

主な特定財源

・ 国県支出金	57
---------	----

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-11 環境美化事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	585 環境美化事業					
		586 海岸清掃事業					
主管課	環境保全推進課(環境保全課)	関連課	作業センター、道水路管理課、公園海浜課				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	快適な生活環境の実現						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	26,503千円	26,665千円	51,466千円			
	(国・県)	57千円	616千円	987千円			
	(負担金等)						
	(一般財源)	26,446千円	26,049千円	50,479千円			
	人員配置数	1.5人	1.5人	14.0人			
	人件費	13,378千円	13,576千円	124,928千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	39,881千円	40,241千円	176,394千円			
	市民1人当 りの経費	226円	229円	1,008円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
不法投棄処理件数を減らす。	○	目標値	110件	100件	90件	80件	70件
		実績値	146件	102件			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
不法投棄発見の日と同時に 処理した件数の割合	×	目標値		80%	85%	90%	95%
		実績値	81.5%	67%			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ①不法投棄物の回収については、19年度の機構改革に伴い、施設整備班が現場作業を担う作業センターに一元化されたことにより、部を越えた新たな体制づくりが必要となった。 ②観光ごみの分別式大型回収容器は老朽化しており、表記も日本語のみとなっている。また、大船駅西口に設置を要望されていた。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ①不法投棄物の対応については、公物管理者である道水路管理課、河川課や現場を担当する作業センター等関係課と調整し、道路上など公共的な場所への不法投棄物については、基本的には当課が対応することとし、不法投棄物の大きさ等により当課での対応が困難な物については、作業センターに依頼することとするなど、迅速な対応ができるよう体制づくりを確認した。 ②大船駅西口の分別式大型回収容器の設置を要望し、21年度の予算に反映した。
	未解決の課題・問題点	①本市が管理する場所への不法投棄物についての処理体制は確認されたが、県等が所管する場所への不法投棄物についての連携体制が課題である。 ②既存の観光ごみ分別式大型回収容器については老朽化しており、また、表記は日本語のみで、多くの外国人観光客が訪れる現状に対応できていない。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ①県等の公物管理者との円滑な連携をとりつつ、迅速な対応を図るとともに、新たな不法投棄をされないよう啓発を進めていく。 ②観光ごみ分別式大型回収容器の修繕や4箇国語表記を検討していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	不法投棄や観光ごみの削減に向けての対応は、日常の啓発活動が不可欠であり、今後も職員一丸となって対応することが求められる。		
担当課長氏名:	環境保全課 比連崎 勝		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	不法投棄の対応については、関係課等・関係機関との連携を密にしながら、また、観光ごみの回収容器については適切な修繕を行いながら対応していきます。		
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋